

授業科目 嚥下・摂食障害演習

【担当教員名】 今井 信行、西尾 正輝		対象学年 3	対象学科 言語
		開講時期 前期 b	必修・選択 必修
		単位数 1	時間数 15
【概要・一般目標：G10】 摂食・嚥下障害の検査・評価・診断・治療・訓練方法について、実技演習を通して理解する。			
【学習目標】 嚥下・摂食障害学で学んだ基礎知識を、臨床の場で応用できるように実習を行う。			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	咀嚼運動、嚥下運動の協調運動		演習
2	摂食・嚥下障害の検査・評価(1)		演習
3	摂食・嚥下障害の検査・評価(2)、頸部聴診法		演習
4	口腔ケア・排出訓練		演習
5	摂食・嚥下障害のリハビリテーション(間接訓練・直接訓練)(1)		演習
6	摂食・嚥下障害のリハビリテーション(間接訓練・直接訓練)(2)		演習
7	摂食・嚥下障害の訓練プログラムの立案		演習
8	まとめ		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	動画でわかる摂食・嚥下 リハビリテーション	藤島一郎、柴本勇	中山書店 2004・3,600円
参考書	脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医歯薬出版 1999・4,935円
その他の資料			
【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験	【履修上の留意点】		